
テディ・ベア

守木菜つくし

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

テディ・ベア

【コード】

N9921C

【作者名】

守木菜つくし

【あらすじ】

少女とクマのぬいぐるみの物語。クリスマスの日にクマのぬいぐるみは少女と出会います。

私のご主人様と初めてお会いしたのは、クリスマスの夜の事だった。

2歳になったばかりのご主人様のクリスマス・プレゼント。それが私だった。

私を作ってくださった祖父母様・ご主人様のご両親、そして私自身。

ご主人様の言葉を待っていた。

しかし、ご主人様は私を一目見るなり、

「いやっ」

と言って、逃げてしまわれた。

私は傷ついた。

何がいけなかったのか……。

私は深く悩み、苦しんだ。

結局、答えの見つからないまま時は過ぎ、私はダンスの上でホコリを被りながら春を迎えた。

八重桜がその盛りを過ぎようとしている晩春の頃、驚くべき事が発生した。

私はあの日の出来事を、生涯忘れることは無いだろう。

ご主人様の母君が私の体に付いたホコリを払い、日光浴をさせて

くれた。

私はつい気持ちよくなってウトウトとしてしまった。
とその時、私の体に何か重いものが押し掛かったのである。

私は驚いた。

なんとご主人様が私の上に乗って、昼寝をなさったのである。
私はようやくご主人様に認めてもらえたのだ。

それからの私は、いつもご主人様と一緒にだった。
遊園地もドライブも動物園も……。

幾度かご主人様と離ればなれになりそうな事態もあった。

だが、そのつど私は運命の女神を味方につけて、ご主人様の許へ
帰って来た。

本当に幸せだった。

あの日が来るまでは……。

時は瞬く間に過ぎ、ご主人様は少女から淑女へと成長なされた。

そして、ご主人様が恋をなさった。

私は別れの予感を感じていた。

動物園で本物の熊と私が似ていない事に驚いて泣かれたご主人様。
仲良しの子と喧嘩して、枕を涙で濡らしたご主人様。

私だけが知っているたくさんのご主人様。

でも、もうご主人様は私を必要としていない。
私は、唯一無二の騎士ではなくなったのだ。
ご主人様は新しい騎士を選ばれたのだ。

私は眠りに就くことにした。

どれくらい眠ったのか分からない。
しかし、誰かが私を起こした。

「ママ。この子、私にちょうだい」

ご主人様の声？

私は目を覚ました。

「ねっ。大事にするから！」

驚いている私に話しかける人がいた。

「今度は私の娘を守ってね」

そう言っつて、すっかり大人になられたご主人様は、私を小さなお嬢様に渡されたのだ。

ああ、懐かしい。

私はご主人様の命により、新しいご主人様の騎士に任命されたのだ。

ご主人様。

悲しくなったら、私に話しかけてください。

寂しくなったら、私を呼んでください。

眠れない夜を過ごしていたら、私を傍に置いてください。

どんな悪夢でも、私が追い払って見せましょう。

いつかあなたの許に

新しい騎士がやってくるまで……。

(後書き)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9921c/>

テディ・ベア

2010年10月10日15時12分発行